

I D 問答～新たに始まった、我(ら?)が精神の放浪?!～

作：I & D

② 人は何故?生きる??難問?ではあるが、必ず「人」は、一度は、このことを考える?!

I：さて、そう言えば、過日、ある飲み会?の時に、一風変わった?卒業生であったと記憶している若者、と言っても、もう40歳前になっている中年?の男から、「先生、最近私は、『人は、何故生きるのか?』というようなことを考えるのですが、もうかなりの人生を生きて来られた先生に、是非見解を聞かせて欲しい!」というようなことを言われました。

D：まあ、そのくらいの年齢に達したら、きっかけはともかくとして、一度くらいはみんな考えるのかもしれないね?!学生時代からこれまで、その彼がどのような生活(人生?)を送ってきたのかは、私自身は知る由もないのですが、とりわけ就職(仕事)に関わっては、一応それなりの頑張りはしてきたはずですので、その意味での反芻、そうしたことが頭を過るのではないのでしょうか?

I：尤も、その飲み会?は、この度の「新型コロナウイルス」の騒ぎで、予定されていた集まり(大学のあるコースの終了及び同窓会?沖縄の感染者が、まだ3人の頃!)の「崩れ飲み会?」(ごくごく一部の残念会!)であり、途中から参加したその彼は、量はあまり飲んではいなかったようであるが、気がつくと、私の席の隣に坐っており、この度の騒ぎがきっかけで、今の仕事(確かブライダル映像関係?)の先行きが思わしくなく、それも手伝って、そのような自問をもったというようなことであった。

D：おそらく?酒の力もあって、そのような、ぶしつけな?質問をしたのでしょうが、やはり、どこかにそうした悩み?を、今持ち始めているというようなことは確かかも知れませんね?!しかも、今の仕事の関わりで…?

I：彼は、その後、私の「岳陽舎」を訪ねて、改めてその話をしてみたいとも言っていましたが、今のところ連絡はしてきていませんので、多分その時だけの?衝動的な発言ということでしょう?!ただし、気にはなっていますが…

D：まあ、そうしたテーマは、本当に切実な状態でしたら、逆に、何度も他人に言えるものではないかもしれませんよ?ましてや、その人の家を訪ねてまで!でも、きっとそのようなことを考えていたことは、事実でしょうね?!

I：実は、私も、何故か?そのように思えます!とは言え、たとえ私の見解を述べたとしても、彼の心情(不安?)を救えるかどうかですが、まったくの自信はありませんけどね?!

D：それはそうでしょうね!議論(哲学?)好きの、言葉遊びで済めばよいのですが、そもいかなのは目に見えています!それはともかく、Iさんは、それについての見解があるということですか?

I：一応、それなりにここまで生きてきたわけですから、あると言えはるのは当然ではありませんか!みんな言わないだけで…それとも、Dさんは、ないとも言うのですか?

D：いやいや、私も、あなたと共にここまで生きてきたのですから、あるのは当然です!むしろ、あなたより論理的に、時には詩情的?にも表現できるのかもしれないよ?(笑い?)

I：私の方は、東京在住時代に、仕事を通じて、そのことを学んだ(知った?)のですが、端的には、「幸せを求めて(になりたいから)」生きている!そのように理解しています!もちろん、その幸せの素が何であるのかが重要かと思いますが、少なくとも「財(金)」「健康(体)」「愛(人)」が絡んでくることは確かかと思いますが!そして、それが無い(少ない)場合に、その大切さが実感される?

D：論理的?には、少しおかしいようにも思いますが、少なくとも「生まれたから」という理由だけで生きるのではなく、「何かを求めて」ということが言えれば、人は幸せなのだということですね?!ただし、その幸せの三要素?の内、「財(金)」「健康(体)」は、自分の努力で何とか得られるかもしれませんが、もう一つの「愛(人)」は、そうはいかないものでもありますね?! (つづく)